

ドローン自動航行（遠隔操作）テストフライトを実施します

平成31年3月1日に区とシステム事業者とで締結した「UAV自動航行の実証実験に関する協定」（※UAV(Unmanned aerial vehicle)：無人航空機）により、区がオープンデータとして提供している高精度地形データ（以下、「DSM」という。）を用いたドローン自動航行システムの実証実験を、本年3月に桃井原っぱ公園で実施しました。国内初の試みであった当実験では、DSMの構築検証、目的地まで自動航行するためのルート生成、都市部での飛行時における通信や飛行制御システムの確認などを行いました。

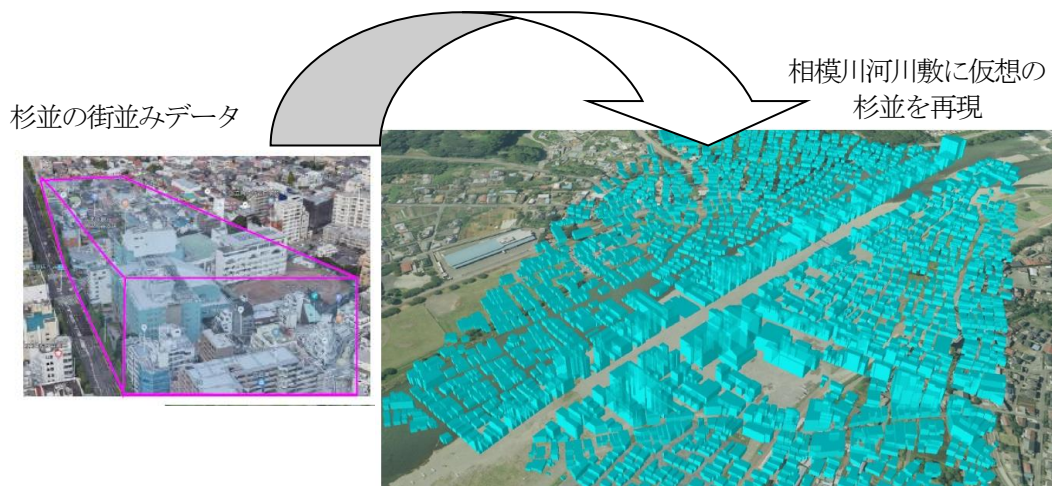
この度、その後続実験として、ドローンの自動航行を遠隔地から管制する実験を実施します。この実験では、DSMを活用して相模川河川敷の広大なテストフィールドに杉並区の街並みを仮想空間で再現した上で、ドローン複数機の自動航行を現実の気象条件下で実機にて行うものです。また、区役所内の会議室にドローン管制室を仮設し、目的地の指定や離発着指示等を遠隔操作し、ドローンから配信される現地の画像をリアルタイムで受信します。

- ・実験日時：12月20日（金）13：30～15：00（実験内容の説明、質疑応答含む）
- ・会 場：杉並区役所 中棟5階 第3・4委員会室

※荒天が予想される場合は12月18日（水）に判断し、予備日の12月19日（木）に実施します。

■DSMにより再現した仮想杉並区の街並み

今回の実証実験では、航空レーザ測量で得られたデータのうち、通称DSM（Digital Surface Model：数値表層モデル）と言われる建物や樹木の高さを含んだ地球表面の高さのモデルを相模川河川敷に移送することで、仮想の杉並区（一部）を再現します。



■実験概要

実験では、杉並区役所内に設けた仮設ドローン管制室よりドローンに指示し、ドローンから配信される画像を受信します。



ドローン进行操作するオペレーターの様子や管制システムの画面を公開します。ドローンから配信される映像（機体Aカメラ、機体Bカメラ）や相模川河川敷からドローンのフライト状況を中継した画像をご覧ください。ドローン実機の展示も行います。

【問い合わせ先】

都市整備部土木計画課 TEL 03-3312-2111 (内線 3422)

都市再生調査事業協同組合 実証実験事務局

東京カートグラフィック(株) TEL 03-3392-6717